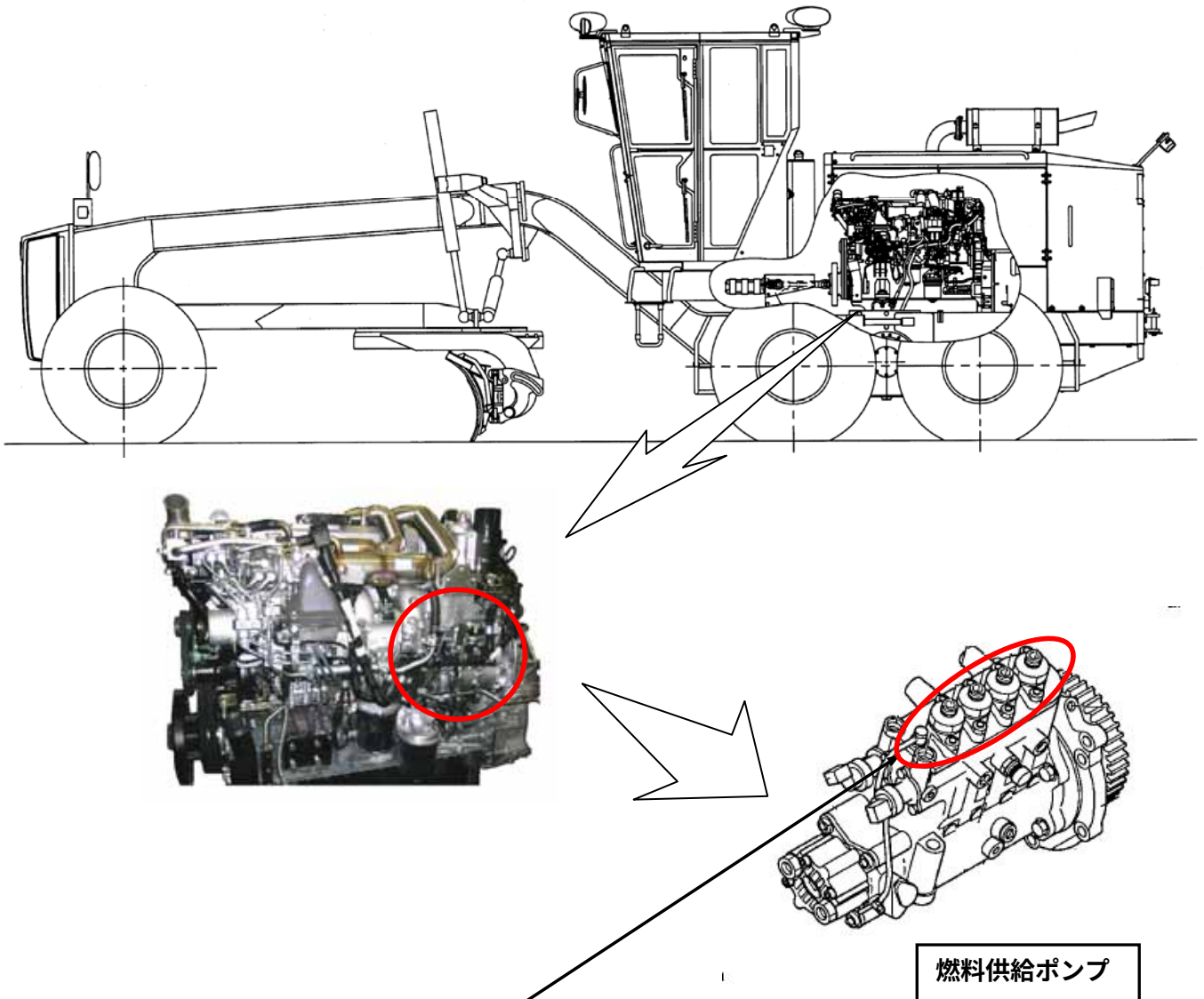


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

燃料噴射装置において、燃料供給ポンプの製造時の加工が不適切なため、当該ポンプの内部に亀裂が発生し、燃料が漏れ、エンジンオイルに混入するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料の混入したオイルがブローバイガスの通路を経由して吸気管に吸入されシリンダー内で燃焼するため、エンジン回転の上昇、エンジン停止及び再始動不能となり、最悪の場合、燃料の混入したエンジンオイルが漏れ火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、燃料供給ポンプを良品と交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：対策実施済み車には、ハンドルボックス左側面下部にステッカー(No.2351)を貼付する。